

## 「矯正施設を退所した障害のある人の

## 地域生活定着支援」を考える研修会 開催要項

### 1 趣 旨

矯正施設を退所した障害のある人の地域生活定着支援について、障害者福祉に携わる私たちに期待されていることは何か。この社会で生きていくために、法に触れる行為をせざるを得なかった障害者の、矯正施設退所後の地域生活定着支援は司法から私たち障害者福祉に委ねられています。しかし、私たちは長年そのことに気付かずいました。あるいは見て見ぬ振りをしていたのかも知れません。

その反省の上に立ち、研修会では、この問題を社会に提起し、御自身もその問題解決に取り組んでおられる山本譲司氏をお招きし、その当時の状況とこれまでの活動の経緯と現状について御講演をお願いします。加えて、今年度、山口県障害福祉サービス協議会で会員事業所・施設を対象として実施したこれらに関するアンケート調査結果についても言及いただき、私たちの理解を深め、取組への問題意識を高めたいと思います。

障害者福祉に携わる者として、この問題を矮小化して、個人の資質や能力などに帰するものとするのではなく、社会の総体としての制度や価値観などの在り方等、この問題の本質を学ぶことを目的として開催します。

- 2 主 催 一般財団法人山口県知的障害者福祉協会  
山口県障害福祉サービス協議会
- 3 後 援 社会福祉法人山口県社会福祉協議会 山口県社会福祉法人経営者協議会  
山口県社会就労事業振興センター
- 4 日 時 平成 29 年 3 月 13 日（月） 午後 2 時 30 分から午後 5 時 40 分まで
- 5 会 場 ホテルニュータナカ  
山口市湯田温泉 2-6-24 TEL 083-923-1313
- 6 定 員 150名
- 7 対象者 県内の障害者支援施設、障害福祉サービス事業所関係者  
その他、テーマに関心のある方等
- 8 参加費（研修会当日、受付にてお支払ください。）
- |                    |     |    |        |
|--------------------|-----|----|--------|
| 一般財団法人山口県知的障害者福祉協会 | 会員  | 1人 | 3,000円 |
| 山口県障害福祉サービス協議会     | 会員  | 1人 | 3,000円 |
| 上記外                | 非会員 | 1人 | 6,000円 |

## 9 内 容

時 間	プログラム	内 容
14:00～14:30	受付	
14:30～14:40	開会式	挨拶
14:40～16:15	講演	【講師】山本讓司 氏
16:15～16:30		休 憩
16:30～17:30	質疑応答	山本讓司 氏 水藤昌彦 氏 古川英希 氏（司会進行）
17:30～17:40	閉会式	挨拶
18:30～20:30	情報交換会	意見交換・交流

## 10 演題・講師紹介

【演題】 法を犯さざるを得なかった障害者と福祉  
— その地域生活定着への取組と現状、福祉の課題 —

### プロフィール 山本 讓司 氏

1962年、北海道生まれ。佐賀県立三養基高校卒。1985年、早稲田大学卒業後、菅直人代議士の公設秘書となり、1989年、26歳で東京都議会議員に。都議2期を経て、1996年、国政の場へ。

衆議院議員2期目を迎えた2000年9月、秘書給与詐取事件を起こし東京地検特捜部に逮捕される。2001年6月、懲役1年6ヶ月の一審判決を受け服役。受刑中は、障害のある受刑者たちの世話係を務める。

2003年12月、事件の反省と433日間の獄中生活を綴った手記『獄窓記』をポプラ社より出版。同著が「新潮ドキュメント賞」を受賞。TBS系列にてテレビドラマ化される。

2004年11月、『塀の中から見た人生』（安部讓二氏との共著・カナリア書房）を出版。

2006年 9月、『累犯障害者』（新潮社）を出版。「講談社ノンフィクション賞」ノミネート作となる。

2007年 6月、『少年犯罪厳罰化 私はこう考える』（佐藤幹夫氏と共編著・洋泉社）を出版。

2008年 1月、文庫版『獄窓記』（新潮社）を出版。

2008年 2月、『続 獄窓記』（ポプラ社）を出版。

2008年 3月、『精神障害と犯罪』（共著・南雲堂）を出版。

2009年 1月、『犯罪からの社会復帰とソーシャル・インクルージョン』（共著・現代人文社）を出版。

2009年 4月、文庫版『累犯障害者』（新潮社）を出版。

2012年 4月、『覚醒』上下巻（光文社）を出版。

2014年 9月、『螺旋階段』（光文社）を出版。

出所後は、東京都内の知的障害者入所更生施設に支援スタッフとして通うかたわら、執筆活動や講演活動(福祉団体、人権団体、経済団体、弁護士会、教育機関など)を行なう。また、福祉関係者らとともに、「障害のある受刑者の出所後のシェルター」づくりに取り組む。

2006年以降は、PFI刑務所「播磨社会復帰促進センター」や「島根あさひ社会復帰促進センター」の計画立案・運営に携わる。さらには、厚生労働省「罪を犯した障がい者の地域生活支援に関する研究」の研究員、および社団法人日本社会福祉士会「リーガル・ソーシャルワーク研究委員会」の委員、そして「法務総合研究所」や「人事院・公務員研修所」の講師を務める。他に現在、NPO法人「ライフサポートネットワーク」の理事長、更生保護法人「東京実華道場」の評議員、更生保護法人「同歩会」の理事、出所者支援機構「生活再建相談センター」の運営委員、「東京都更生保護就労支援事業者機構」の理事も務める。

2010年9月、犯罪防止活動や犯罪者の更生に寄与した人物を賞する「作田明賞」の第一回最優秀賞を受賞。

2012年3月より、村木厚子さんへの国家賠償金をもとに設立された「共生社会を創る愛の基金」の運営委員。

2014年7月より、「再犯防止を考える官民合同勉強会」のメンバー。

2014年10月より、「触法障害者・高齢者支援法立法に関する検討委員会」の委員。

## プロフィール 水藤 昌彦 氏

山口県立大学社会福祉学部准教授。専門は司法福祉、フォレンジック・ソーシャルワーク、刑事政策。研究テーマは、犯罪行為を含む多様で複雑な支援ニーズのある人に対するソーシャルワーク、性犯罪行為や放火への対応、リスクマネジメント、犯罪行為からの離脱と当事者性、刑事司法と福祉の連携における課題など。

モナシュ大学大学院修了 (Master of Social Work)。

2001年からビクトリア州政府ヒューマン・サービス省 (オーストラリア) にて、障害のある犯罪行為者への対応などに関わる。

2008年より社会福祉法人北摂杉の子会 (大阪府高槻市) にて、多機能型通所施設、相談支援、短期入所を併設する高槻地域生活支援センターぷれいす Be の開設準備室長、施設長として勤務し、2011年より現職。

2010年より独立行政法人国立のぞみの園 (群馬県高崎市) 参事を兼務。矯正施設から釈放された知的障害者への地域移行支援、研修、研究に関するプロジェクトを担当。その他に地域生活定着支援センター、障害福祉サービス事業所、学校、自立支援協議会などへのコンサルテーションなどにも関わり、主にアセスメントと支援内容の検討、リスクマネジメントなどに協力している。

### 【主な共著書】

『更生支援計画をつくる』 (2016年、現代人文社)

『よくわかる更生保護』 (2016年、ミネルヴァ書房)

『司法福祉：罪を犯した人への支援の理論と実践』 (2013年、法律文化社)

『司法福祉を学ぶ』 (2013年、ミネルヴァ書房)

『罪を犯した知的障がいのある人の弁護と支援』 (2011年、現代人文社)

『発達障害と司法』 (2010年、現代人文社) など

### 【本研修会のテーマに関係する近年の主な論文】

「近年の刑事司法と福祉の連携にみるリスクとセキュリティー-福祉機関が「司法化」するメカニズム-」 『犯罪社会学研究』 第41号, 47-61頁, 2016年.

「刑事司法と福祉の連携による犯罪行為者への対応：これまでの展開と今後に向けての課題」 『精神保健福祉』 第46巻4号, 274-285頁, 2015年.

「刑事司法と福祉の連携のあり方についての国際比較 -オーストラリアとの比較において-」 『犯罪社会学研究』 第38号, 68-84頁, 2014年.

## 11 情報交換会について

会 場 ホテルニュータナカ

参加費 1人 6,000円

## 12 申込方法

別紙「参加申込書」に必要事項を御記入の上、FAXにより平成29年2月28日(火)までにお申込みください。

## 13 個人情報の取扱いについて

「参加申込書」に記入された個人情報は、研修会の運営のみに使用します。

## 14 問い合わせ先・申込先

山口県障害福祉サービス協議会 事務局

山口県社会福祉協議会 総務企画部 福祉振興班

担当：阿部

〒753-0072 山口市大手町9-6

TEL 083-924-2799 FAX 083-924-2798

一般財団法人山口県知的障害者福祉協会 事務局

担当：山崎

〒753-0072 山口市大手町9-6

TEL 083-925-2424 FAX 083-925-2212

## 15 駐車場

駐車場については、台数が限られていますので乗合せてお越しく下さい。

### 【会場周辺地図】

